

平成24年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	8番	橋本弘山 (60分)	<p>1. 地籍調査事業について</p> <p>(1) 地籍調査の目的とその流れについて伺う。</p> <p>(2) 土地の面積が正確でなかった為に生じていた行政的な課題、問題点は何だったか。</p> <p>(3) 同じく民間の課題、問題点は何だったか。</p> <p>(4) 地籍調査の該当する地区と既に完了した地区は何処か。</p> <p>(5) 地籍調査地区はどのような順序で行われてきたか。</p> <p>(6) 現在の進捗率はどのくらいか。</p> <p>(7) 他市の状況はどうなっているのか。</p> <p>(8) 地籍調査によって増減した土地は固定資産税等に即、反映されていくのか。</p> <p>(9) 地籍調査を進めていく上での問題点は何か。</p> <p>(10) 国および東京都の地籍調査等事業費補助金はいつまで利用できるのか。</p> <p>(11) 今後の見通しと計画について。</p> <p>2. 羽村の緑を守り育てていくために</p> <p>(1) 生産緑地について</p> <p>①過去5年間の耕地面積の推移は。</p> <p>②過去5年間に買い取り要請は何件あったか。</p> <p>③その買い取り面積と金額は。</p> <p>(2) 保存樹林地について</p> <p>①現在までの面積の推移は。</p> <p>②市所有と個人所有の面積と割合はどうか。</p> <p>③個人所有の保存樹林の今後の見通しは。</p> <p>(3) 特別緑地保安地区制度について</p> <p>①この制度を把握しているか。</p> <p>②この制度を羽村市に適用できないか。</p> <p>(4) 宅地開発等の指導について</p> <p>①戸建て住宅の緑化に関する指導はどの範囲で行っているのか。</p> <p>②移転予定の日立国際電気羽村工場の敷地5万1千㎡の開発指導はどのように進んでいくのか。</p> <p>(5) 緑の基本計画の策定について</p> <p>①この目的とその内容は。</p> <p>②他市の状況は。</p> <p>(6) 緑のネットワークについて</p> <p>①この目的とその内容は。</p> <p>(7) 生け垣助成について</p> <p>①今年の利用状況と補助金額は。</p>	9月6日

2 人目

4 番

富 永 訓 正
(60 分)

- ②現在までの利用状況と補助金額は。
- ③利用した人のその後の状況は把握しているか。
- (8)緑地の減少を防ぎ、緑を創出し、自然環境を維持していくための方策は。

9 月 6 日

1. 公共・公益施設の維持・保全計画について (防災・減災総点検を実施して)

- (1)市は公共建築物維持保全計画を平成23年12月に策定したが、個々の公共建築物の状態、問題箇所を、どう把握し、どのような認識をしているか。
- (2)緊急点検、補修・改修が必要と思われる建築物が見受けられる。市の考えは。
- (3)公共建築物維持保全計画によると、今年度から10年間での整備予定施設が55施設。
 - ①バリアフリー化をどのように盛り込むか。
 - ②予算・財源の確保をどのように行うか。
- (4)「道路・橋梁維持保全計画」および「公園維持保全計画」の策定作業の進捗状況と公表時期を聞く。
- (5)新たな被害想定の見直しに伴い、現在の「公共建築物維持保全計画」、「水道ビジョン」、「下水道総合計画」、「耐震改修促進計画」をどのように見直していくか。

2. はむら夏まつりについて

- (1)総括と課題
 - ①出店者、来場者の皆様からの寄せられた意見・要望等の内容と対応を伺う。
 - ②市外へのアピールをどのように行い、どのような反響であったか。
 - ③羽村駅西口側では昨年と比較しての反響と、今後のさらなる充実に向けてどのように取り組んでいくか。
 - ④ボランティアの確保における今年度の状況は。
 - ⑤2回目の東日本大震災被災地支援ブースの反響と、今後どのように展開していくか。
 - ⑥B級グルメコーナーの反響は。
 - ⑦今後の課題は。
- (2)サンバパレードについて
 - ①はむら夏まつりといえばサンバ、というイメージを定着させるために、コンテストを実施しては。
 - ②行進ルートの見直し、延長を図る考えは。
 - ③マスコミ等へのPRをどのように行い、どのような反響であったか。またPRの強化を。
- (3)人の動線からも羽村駅中央通路拡幅を急ぐ必要性が高いがいかがか。

1. 障がい者に配慮した防災対策を

- (1) 二次避難所である福祉センターでは、どのような受け入れ体制を想定しているのか。
- (2) 福祉センターにおける防災計画と事業継続計画（BCP）はどうか。
- (3) 福祉センターの非構造部材等の建物の安全性はどうか。
- (4) 昨年の計画停電時、水道が断水に。非常用電源との連結が必要なのではないか。
- (5) 障がい者用仮設トイレは1基とのこと。増設を望むがいかがか。
- (6) 緊急連絡用に衛星電話等何らかの通信機器を配置してはどうか。
- (7) その他にも障がい者に配慮した備蓄品が必要と思われるが、どんな物が必要と考えているか。
- (8) それらの早めの手配と備蓄倉庫の設置を望むがいかがか。
- (9) その他 3・11 東日本大震災の教訓はあるか。

2. 通称「ポイ捨て禁止条例」について

- (1) 条例施行後 2 か月が過ぎたが、ポイ捨ての現状を聞く。
 - ① 市内全域でのごみは。
 - ② 市内全域での犬のふんは。
 - ③ 羽村駅周辺のタバコの吸殻は。
 - ④ 小作駅周辺のタバコの吸殻は。
- (2) 広報が足りなく周知不足との声が上がっているが、スタート時点でどのような施策をしたのか聞く。
- (3) 禁煙区域内の喫煙場所の再検討および増設を望む声があるがいかがか。
- (4) 8 月からパトロールを行っているとの事だが、方法・体制等を聞く。
- (5) 10 月からの過料処分の方法・体制等を聞く。
- (6) 軌道に乗せるために他の機関・団体等との連携はどうか。
- (7) この条例により将来の羽村市の姿をどう見ているか。

3. 10 年目を迎えた「二学期制」について

- (1) 当時周辺地域では稀であった二学期制を取り入れた理由、本質とは何か。
- (2) 保護者や市民の中には、未だに二学期制への疑問を持つ方がいるが、10 年が経過し改めて二学期制をどう評価しているか。
- (3) 二学期制を実施している他自治体の評価と比較してみてどうか。
- (4) 二学期制から三学期制へ戻した学校もあるが、それらの分析はしたのか。
- (5) 部活動の大会や他校（三学期制）との交流の支障は解消されたか。

4 人目

10 番

小 宮 國 暉
(60 分)

- (6) 受験生の内申評価の影響はどうか。
(7) 平成 21 年に二学期制の検証をしているが、その内容が保護者や市民らに対し反映され理解が深まっているのか。

9 月 6 日

1. 豪雨に耐えられる治山、治水対策を

(1) 羽中四丁目付近の浸水対策について

- ①平成 19 年 9 月の浸水被害後、那賀幹線開渠部の改良や排水ポンプの増設などの対策が講じられたが、近年の記録的な豪雨に対応できる対策が必要と考えるがいかがか。

(2) 多摩川の安全対策について

- ①増水した場合の情報収集はどのように行われ、関係住民への広報は周知されているか。また万一の場合にそなえての避難誘導方法は検討されているか。

- ②今後の河川整備や堤防の安全対策は。

(3) 土砂災害への対応について

- ①本年 3 月に土砂災害防止法に基づく、土砂災害警戒区域の指定が行われ、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われることとなっている。その後の進捗状況は。

- ②急傾斜地については地すべりや崩壊の危険があると考え。また豪雨による土砂の流出や倒木による近接した住居への被害も考えられる。あわせての対策は。

- ③清流地区は急傾斜の山（草花丘陵）をかかえ地すべりや崩壊の危険が予測される。また町内に至る唯一の道路は過去に樹木が倒れ通行不能となった時があったと聞いている。あきる野市・東京都と協議し調査、対策を進めてはどうか。

- (4) 今後羽村市独自で雨量計を設置し関係機関の情報と合わせて危険予知、防災対策に活かすことは必要と考えるがいかがか。

2. 学校における生活指導上の問題について

- (1) 羽村市内の小中学校での、いじめ問題を含めた、生活指導上の問題の傾向とその問題に対する対応について

- ①羽村市内の小中学校におけるいじめの実態といじめへの対応はどのようになっているか。

- ②羽村市内の小中学校における不登校の実態はどのようになっているか。また、いじめが原因で不登校となった事例とその対応は。

- ③羽村市内の小中学校におけるいじめや不登校以外に、生活指導上の問題にはどのようなものがあるか。またそれらの問題といじめとの関連をどのように考えているか。

- (2) いじめ、非行が潜在している場合の「予知」について学校、保護者、関係機関との話し合いが

5 人目

12 番

石 居 尚 郎
(60 分)

行われているか。また、万が一、重大ないじめが起こった場合の再発防止策は、具体的にになっているか。

3. 平成 25 年東京多摩国体開催に向けて

- (1) 平成 25 年東京多摩国体の羽村市での開催は、市民にとって大変意義深いものと思うが、あらためて市長の見解を伺う。
- (2) 市の受け入れ体制、面的整備について
 - ① 4 日間の開催日程で想定している交通手段別来場者数、経済効果試算額ほどの程度を見込んでいるか。
 - ② 各テーマ別に実行委員会が組織されているが、全体を網羅した総合計画を策定すべきと思うがいかがか。
 - ③ 羽村市の歴史文化、産業、観光資源などを PR するまたとない機会と考えるが、どのような計画を立てているか。
 - ④ 羽村駅からスポーツセンターまでの徒歩によるルートはどのようになるのか。また、道路の整備や関係地域団体の協力を仰いで、花卉や歓迎旗の配置等が必要と考えるが如何か。
 - ⑤ 羽村駅西口周辺は暫定整備中であるが、来場者を迎える 1 年後の開催時期にはどのような状況になっているか。

1. 子ども・若者支援について

- (1) 不安定な雇用、ニート、不登校、ひきこもりなど社会生活を営む上で困難を抱えている子ども・若者の問題に対し、市はどう認識しているか。
- (2) 子ども・若者支援について、公的機関等のネットワークを構築し、きめ細やかな支援を行っていく必要があると考える。現段階で羽村市を中心としてどのような団体とどういった連携を図っているか。
- (3) 「子ども・若者支援地域協議会」を早急に設置すべきと考えるが。
- (4) 気軽に相談できる、よろず相談窓口の設置を検討しては。
- (5) 雇用に関わらず、個々の状況に応じた支援体制をどう構築していこうと考えているか。

2. 特別支援教室モデル事業を成功させよう

- (1) 今年の 3 月議会において、「特別支援教育の推進を」と題して質問をし、施策の推進を促した。羽村市において本格的に特別支援教室モデル事業が開始される。このモデル事業において、これまで質問してきた内容が具体的にどのように反映され、推進されていくか。

9 月 6 日

6 人目

13 番

濱 中 俊 男
(55 分)

- ①通常学級におけるユニバーサルデザインの授業改善、環境改善を具体的にどう進めるのか。
- ②教員等の人材育成をどう図っていくのか。
- ③教育委員会外も含めた各関係機関との連携強化と、全体をコーディネートする（仮称）発達障害支援室の早期設置を。
- ④個々の発達課題に対応した個別支援計画の実施時期は。
- ⑤ソーシャルスキルトレーニングの具体的な実施方法は。

3. いじめ問題について

- (1)羽村市は「いじめ」の定義をどう捉え、どのように周知徹底してきているか。また、いじめの本質はどこにあると考えているか。
- (2)各小中学校や教育委員会は、これまでどのような対策を講じてきたか。また、いじめ根絶に向けた今後の対策をどう考えているか。
- (3)被害者の保護、心のケア、再発防止、適切な初期対応など、いじめ対処の基本原則の徹底をどう図っているか。
- (4)学校教育の中で自己肯定感をどう育てているか。
- (5)第三者機関の関与が必要な場合をどう想定しているか。
- (6)羽村市として（仮称）「人権都市宣言」を検討してはどうか。

1. 羽村駅西口土地区画整理事業の進展について

- (1)事業の進捗について
 - ①第二次換地設計案が決定されるのはいつか。
 - ②今後の年度ごとの計画の予定は。
- (2)権利者からの意見・要望について、どのようなものがあつたか。
- (3)羽村駅等を利用している地区外の住民からどのような要望が寄せられているか。
- (4)事業費について
 - ①事業終了までの見通しは。
 - ②国や都からの新規の補助金はあるか。
- (5)今後の事業の進め方についての具体的な将来展望は。

2. 都市農業について

- (1)農地の減少対策は
 - ①減少を食い止めるための施策は。
 - ②市内の経営耕地面積の将来目標は。
- (2)農業振興について
 - ①農産物直売所の支援はどのように行っているか。

9 月 7 日

7人目

6番

大塚あかね
(60分)

- ②市内の農産物を使用した「食育」はどのように行っているか。
- (3)水田について
 - ①稲作体験等の教育面やチューリップ等の観光面で市内の水田の役割は大きい。農家よりどのような声があり、どのように対応しているか。
 - ②大多摩観光連盟が行ったB級グルメに水田の米が使われていた。米の販売について支援していく考えはあるか。
- (4)新しい農業振興計画の策定は。

9月7日

1. ワーク・ライフ・バランスを進めよう

- (1)市内企業への支援はどのように図られているか。
 - ①一般事業主行動計画の策定・届出の状況は。
 - a. とうきょう次世代育成サポート企業の周知（登録することにより、中小企業両立支援推進専門家派遣事業等が活用できる事などの周知）
 - ②非正規労働雇用環境整備支援事業の情報提供はされているのか。
 - (2)仕事と子育ての両立が可能な環境整備について伺う。
 - ①学童クラブの開所時間の試行的延長はいつから実施されるのか。
 - ②病児保育の実施についての見解を伺う。
 - (3)仕事と介護の両立に対する羽村市の取り組みを伺う。
 - ①介護する人＝働く人が仕事をしながら、介護もできるような仕組みやサービスの情報提供を、羽村市として、どのように図っていくのか。
 - ②在宅介護が進むなかで、介護する家族への支援をどのように図っていくのか。
 - (4)「生涯学習社会の実現」と「ワーク・ライフ・バランス」について
 - ①生涯学習社会の実現のためにはワーク・ライフ・バランスをより積極的に推進するべきと考えるが、改めて市のワーク・ライフ・バランスに対する姿勢を伺う。
 - ②「ワーク・ライフ・バランス推進都市宣言」（仮称）を行ってはいかがか。
- ## 2. 富士見霊園はどのように管理・運営されているのか
- (1)合葬式墓地について伺う。
 - ①遺骨の納骨方法について。
 - ②申し込み方法について。
 - a. 生前申し込みは可能なのか。

8 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

- b. いま現在、区画墓地を有している方の申し込みも可能なのか。
 - c. 2 体用の申し込みについて
- (2)羽村市富士見霊園条例もしくは施行規則に「申し込み者の資格」を明示してはいかがか(市内に居住している年数、祭祀を主宰すべき者であること、現に埋蔵すべき遺骨〔申込遺骨〕があること、墳墓等の使用の許可・承認等を受けていないこと等)。
- (3)今後、予定されている霊園の拡張に伴い、いままで以上に共用施設の維持管理を適切に行い、良好な墓参の場を提供していく責務が求められてくる。そこで今後の管理・運営等について以下伺う。
- ①合葬墓地の管理方法について。
 - ②霊園全体の管理については今まで通り、市が行うのか、もしくは民間委託を考えているか。
- 3. パワーハラスメントの予防・解決に向けた取り組みはされているか**
- (1)パワーハラスメントの予防・解決に向けた取り組みについて伺う。
- ①市役所内での予防・解決策はどのように講じられているのか。
 - ②企業向け、市民向け対応マニュアルの作成は検討されているか。
 - ③職員や市民からの相談・解決窓口の設置はされているのか。
- (2)厚生労働省が 10 月 1 日に開設予定のポータルサイトについての広報・周知はされているのか。

9 月 7 日

- 1. 重症化予防対策等で国保事業の医療費適正化を**
- (1)レセプトを活用したジェネリック医薬品の差額通知の現状と目標はどうか。
 - (2)今後さらに国保のレセプト分析から医療費適正化や健康増進を図る対策推進を。
 - (3)国の助成金を活用した「重複・頻回受診者への訪問事業」と「生活習慣病重症化予防に重点を置いた取り組み」などを行ってはどうか。
 - (4)呉市のような重症化予防などの国保事業により、健康増進とともに医療費適正化が大きく図られると考えるが、市の考えを伺う。
 - (5)市民に健康手帳が配布されているが、活用は図られているのか。
- 2. 安心して子育てできる環境整備を**
- (1)これまで質問してきた、ゆとりぎや図書館、スポーツセンターなどでの子育て支援の目線を入れた取り組みは、その後どのように推進されているのか。

9 人目

2 番

富 松 崇
(50 分)

- (2) 子育てママのサークル活動などを支援する、情報交換の場の提供は、その後どのように支援されているのか。
- (3) 実施計画のなかで「幼・保・小の連携推進懇談会」の運営について交流会の推進などつながりを意識した対応に取り組むとなっているが、現状と課題について伺う。
- (4) 保育園の待機児童数は、今年度当初と年度途中はどのような変化があるか。
- (5) 市における保育園、幼稚園保育料の自己負担額の平均は、1 人の場合と 2 人の場合それぞれ、いくらか。
- (6) 保育園同様、幼稚園に通う 3 人目以降の保育料も補助金で無償化してはどうか。
- (7) 今ある公共施設を活用し、新たに子育て支援の機能を持たせた「子育て支援センター」として有効活用を図ってはどうか。

3. はむらんのさらなる利便性の拡充について

- (1) はむらんの利用者の状況について、全体での各年度ごとに伺う。
- (2) はむらんの乗降調査について、いつ、どのような調査を行い、その結果をどのように反映させていくのか。
- (3) 「はむらんの利用の仕方がよく分からないので一度も利用したことがない」との声を伺うことがある。今後どのように推進しようと考えているのか。
- (4) バスの時間に合わせたイベントや企業巡りコースなど、はむらんを商工会や観光協会との連携で地域活性化につなげられないか。
- (5) GPS をバスに付けて、現在地がわかり、それにより、携帯電話やパソコン等で、あと何分でバスが来るのかわかるようなシステムは、いつどのようにスタートしているのか。

4. 学校でのがん教育について

- (1) 小・中学校で「がんに関する教育」を取り入れ、生活習慣の大切さや、がん検診の重要性など正確な知識を学ぶ機会としてはどうか。

1. 自動体外式除細動器 (AED) の設置状況と今後の計画について

- (1) 現在の設置状況について
 - ① 市内公共施設の設置状況は、どのような場所に何か所設置されているのか。
 - ② ある程度、年数が経過すると消耗品を交換するメンテナンスが必要になると思うが、その費用と耐用年数はどの位か。
 - ③ 地域集会施設等への設置状況は。

9 月 7 日

10 人目	15 番	船 木 良 教 (50 分)	<p>④公共施設以外の市内の事業所に設置されている A E D の台数や場所は把握されているのか。</p> <p>⑤現在、設置場所の周知はどのようにされているのか。</p> <p>⑥設置されている A E D が使用された事例はあるのか。</p> <p>(2) 今後の設置計画や管理体制について</p> <p>①新しく設置する場合の費用は。</p> <p>② A E D を新規に設置するときや維持管理を行う担当部署は何か。</p> <p>③今後、設置場所を増やす計画は。</p> <p>④「はむらん」や「青パト」への設置の考えは。</p>	9 月 7 日
11 人目	5 番	鈴 木 拓 也 (60 分)	<p>1. まちの安全と、人の安心政策について</p> <p>(1) 安心・安全性を高める、施策・施設整備について</p> <p>①近年、誰にも優しく、誰でも使えるバリアフリー・ユニバーサルデザイン（万人に対応した設計）を追求する施策・施設整備が求められていると考えるが、当市ではどのように捉えているか。</p> <p>② ①について特に商店街の活性化や交通弱者への対応として、広域・都市計画の観点から捉える事が重要と考える。今後の見通しはどうかか。</p> <p>③街路樹の根の成長に伴う歩道の整備と、上下水道管の老朽化に伴う対策はどうすべきと捉えているか。</p> <p>④市内のいたるところで、いつでも、水道水を安心して飲める上水道設備（下水道）と、休憩するベンチの設置を、共に望むが、いかかか。</p> <p>(2) 犯罪防止と安心対策について</p> <p>①犯罪や事故から市民を守る治安対策としての街灯監視・防犯カメラの設置について、プライバシー保護の観点も含めていかかか伺う。</p> <p>②財政支出を抑え安全対策としての公共施設の照明器具の L E D 電球への交換について伺う。</p> <p>1. オスプレイの横田基地への飛来を許すな</p> <p>(1) オスプレイの危険性について</p> <p>①重大な事故をくり返しているオスプレイの危険性をどう認識しているか。</p> <p>②防衛省が羽村市に持参した「環境レビュー」で何がわかったのか。</p> <p>(2) 横田基地へのオスプレイの飛来、訓練について</p> <p>①「横田基地へのオスプレイの飛来、訓練はありうる」との認識に立っているか。</p>	9 月 7 日

- ②飛来、訓練が実施された場合、どのような問題が生じると懸念されるか。
- (3)周辺自治体と連携して、国に声をあげる行動について
 - ①3月14日に周辺自治体とともに国へ提出した「オスプレイの一時配置の中止について」の要請に対し、国はどのような回答を寄せたか。
 - ②横田基地でのオスプレイの「飛来、訓練」には断固反対の立場をとるべきと考えるがどうか。
 - ③具体的な行動はとられているか。また、その予定はあるか。
- (4)横田基地での演習の強化、質的变化について
 - ①「基地騒音が以前に比べ増している」との声があるが、実態はどうか。
 - ②横田基地所属以外の部隊が訓練を行うなど、訓練の内容に質的な変化があると考えますが、どう認識しているか。

2. よりよい学校教育をめざして

- (1)2学期制について
 - ①依然として、多くの保護者が2学期制に疑問をもっていることについて、どう認識しているか。
 - ②特に中学校で、テストと部活動の大会が重なるという問題点をどう認識しているか。
 - ③特に中学校で、夏休み明け9月にテストが行われるという問題点をどう認識しているか。
 - ④2学期制から3学期制に戻す自治体が増えていく。2学期制には根本的な無理がある故だと考えるが、どう認識しているか。
- (2)教員の多忙化について
 - ①教職員組合が羽村市の教職員の労働時間調査を行った。中学校の平均で週に約29時間の超過勤務を行っているという驚くべきものだった。教育委員会はこうした実態を把握しているか。
 - ②教員が健康で生き生きと子どもへ接することができるよう、労働時間の短縮は急務となっていると考えるが、具体的な対策はどう進められているか。
- (3)特別支援教室について
 - ①先日の説明会で発達障害の子どもへの指導を「子どもが動くから教員が動く」へと切り替えるモデル事業を行うと説明があった。具体的には、いつごろから、どういった内容で、現在の通級指導学級と違う取り組みを行う計画か。職員の増員はなされるのか。
 - ②説明会アンケートにはどのような声が寄せられたか。課題についてはどのような声があったか。
 - ③現在の通級学級への登校人数は何人か。学校ごとの人数はどうか。どう推移しているか。

1. 羽村市の財政について

- (1) 市長が就任前と現状とを比較して羽村市の税収はどう変化したか。また、歳出はどのように変化したか。
- (2) この期間、人件費・扶助費・国保会計への繰り出しはどう推移したか。
- (3) ラスパイレス指数、職員一人あたりの退職金、議員報酬は東京 26 市中何位か。
- (4) ものづくり産業が衰退し歳入の減に繋がっている。現状をどう分析しているか。また、市内のものづくり産業の復興に向けて、どのような対策を考えているか。
- (5) 市長は、かねがね、「財政は厳しくなっても市民サービスには影響を与えないようにしたい。」と仰っているが、その場合の市民サービスとは具体的には何を指すか。
- (6) 補助金・負担金の歳出に占める割合は、東京 26 市中何位か。中でも、他の自治体と比較して高い比率の補助金・負担金は何か。
- (7) 大規模修繕、維持管理費は、今後も高い水準が予想されるが、どう計画的に進めていく考えか。
- (8) 厳しい財政状況を考えると、区画整理の規模の見直しは必要だと考えるが、市長はその考えは全くないか。

2. 教育の諸課題について

- (1) 4 月 17 日に実施された全国学力・学習状況調査について
 - ① 羽村市の小学 6 年生、中学 3 年生の各教科の平均点の都内における順位は。
 - ② 学力・学習状況調査の結果は、これまでどのように指導に生かしてきたか。また、今回の結果についてはどう分析し指導に生かす考えか。
- (2) 入試に直結する中学 3 年生の評定について
 - ① 羽村市の各中学校で、評定の 5 や 1 の割合が他市と比較しても学校間で著しく違うのは何故か。
 - ② 絶対評価の基準について、各学校間で話し合っ
て共通の認識が必要ではないか。
- (3) 大津市のいじめによる自殺の問題が連日報道されている。羽村市教育委員会は、いじめの有無の認定はどのような基準で行っているか。
- (4) 4 月から夏休みまでの不登校生徒は各中学校 3 校で何人いて、同時期の過去 3 年間の推移はどうなっているか。
- (5) 日本の領土である竹島や尖閣諸島について小学校や中学校ではいつ頃どのように教わるか。

13 人目

17 番

門 間 淑 子
(60 分)

1. 今後の平和事業について

- (1) 平和事業が毎年続けられてきたが、どのように総括しているか。
- (2) 平和市長会議に参加して、羽村市の平和施策をどのように広げるのか。
- (3) ゆとろぎでの展示となり、どのような変化が見られたか。
- (4) 若い世代への平和の継承は、どのように進めていくのか。
- (5) 平和事業予算を増やす考えはないか。

2. 図書館の充実を急げ

- (1) 図書館の基本方針は何か。
- (2) 図書館のホームページの充実が必要ではないか。
- (3) YA コーナーはどのように充実させるのか。
- (4) 雑誌購入は増えるのか。
- (5) 図書館に対する市民アンケートを実施してはどうか。

9 月 10 日

14 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

1. 区画整理撤回要求 第 22 弾

- (1) 第 2 次換地設計 (案) の問題点を質す
 - ① 9 月現在の作業状況を聞く。
 - ② 換地修正者への個別調整状況と、対象者の意向、人数はどうか。
 - ③ 意向確認できない権利者の扱いはどのようになるか。
 - ④ 個別回答する換地修正者と、意見書提出者数、採択・不採択者数を聞く。
 - ⑤ 回答時期と換地修正者、意見提出者からの意見書への対応、今後の審議会予定を聞く。
 - ⑥ 24 年度に、画地確定測量費 2,100 万円が計上されている。作業内容と期間を聞く。
 - ⑦ 権利者を無視した換地設計 (案) であり凍結すべきではないか。
 - ⑧ 仮に第 2 次換地設計 (案) を決定するとして、換地設計決定通知はいつ頃の予定か。
- (2) 土地区画整理事業、見直しのプロセスを聞く
 - ① 区画整理は一度決めたら止められないか。
 - ② 区画整理の都市計画決定の取り消し例はあるか。あるとすればどこか。
 - ③ 都市計画決定の取り消しや変更の場合、決定者は誰か。
 - ④ 事業計画変更で見直す条件、項目は何か。
 - ⑤ 羽村での過去の区画整理の事業費、市負担割合、期間について聞く。
 - ⑥ 時間がかかるほど事業費増加で無駄が出る。今が見直しのチャンスではないか。

9 月 10 日

1. 生涯学習活動の支援策などについて

- (1) 中学生の職場体験の安全対策について
死亡事故につながった事件が報道されているが、羽村市ではこれまでに事故は無かったか。また、このような事態を招かないためにどのように対応していくか。
- (2) 市民の活動の支援について
- ① 市民の活躍を役所の垂れ幕などで広報するのは、どんな基準によっているか。
 - ② 市の認知度を上げる活躍をした市民などへの褒賞・報奨は、どのようになっているか。
 - ③ 他市では振興基金を設置して、国際大会や全国大会、関東大会、都大会などに出場する市民の活動を支援している例もあるようだが、多摩地区の自治体の支援策はどうなっているか。
 - ④ 羽村市としても体育協会・文化協会・各種保護者会などの関係団体と調整しながら、活動支援策を確立してはどうか。財政面では、市が設置した特定の自販機の収入を積み立てるといった工夫をしてはどうか。

2. 教員の多忙の実態は

- (1) 教員の勤務実態は
- ① 教員一人当たりの昨年度と 10 年前の超過勤務時間は、小・中学校それぞれ平均、最長、最短何時間か。
 - ② 学校ごとではどうか。
 - ③ 同じく有給休暇の取得状況は。
 - ④ 同じく研修の件数・時間数は。
 - ⑤ 上記の項目について、西多摩の他の自治体と比較して、それぞれどんな違いがあるか。
- (2) これまでの対策は
- ① 校務パソコンは、多忙の解消に、年間何時間程度貢献していると認識しているか。
 - ② 副校長の負担軽減策はどんなものを実施したか。
- (3) 施策の影響は
- ① 二学期制のために、面談と 4 回の成績評価が必要になったとの声もある。この二学期制が多忙に影響する時間はどれくらいと把握しているか。
 - ② 小中一貫教育のために、会議時間等が増えるのはスタート段階では止むを得ないともいえる。この小中一貫教育が多忙に影響する時間はどれくらいと把握しているか。
- (4) 教員の健康管理は
- ① 病気による休職教員数は、ここ 5 年間どのように推移しているか。
 - ② 長時間勤務の教員の健康管理はどのように実施しているか。
- (5) 今後の多忙の解消に向けての対策をどう考えるか。

